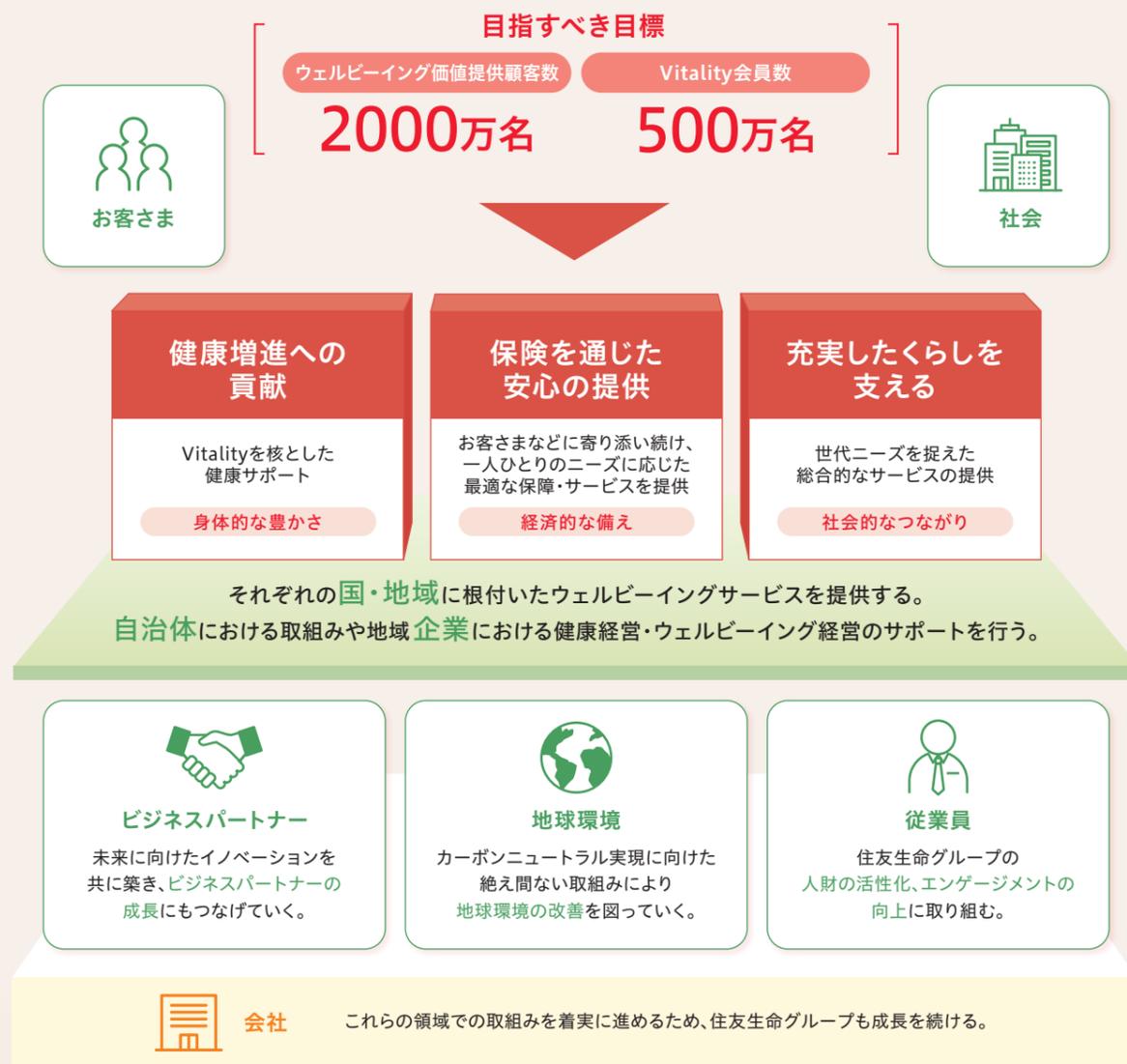


ステークホルダーのウェルビーイング実現に向けた取り組み

1人でも多くのステークホルダーにウェルビーイングの価値を提供するため、「保険を通じた安心の提供」という保険本来の役割に加え、「健康増進への貢献」「充実した暮らしを支える」などの領域で取り組みを深めていきます。また、保険にご加入のお客さまだけでなく、広く地域社会に寄り添い、それぞれの国・地域に根付いたサービスを提供していきます。住友生命は、お客さま・社会・ビジネスパートナー・地球環境・従業員というすべてのステークホルダーに対して、それぞれのウェルビーイングに貢献し続ける企業グループであり続けます。

1人でも多くの方にウェルビーイングの価値を提供



取組事例 | 01

地方自治体との連携で健康で安心な暮らしをサポート



住友生命は、健康づくりや地域創生等に貢献することを目的に全国の自治体との連携を進めています。「住友生命グループVision2030」および「スミセイ中期経営計画2025」に基づき、充実した暮らしを支え、地域に根付いたウェルビーイングサービスの提供を目指していきます。

「Vitalityウォーク」を通じて健康なまちづくりへ

住友生命では、かねてから自治体との関係強化を進めており、2023年4月時点で44の都道府県および全国多数の市町と協定締結・事業連携等を行っています(うち、10都府県とは包括連携協定を締結)。2023年3月に策定した「住友生命グループVision2030」においては、充実した暮らしを支え、地域に根付いたウェルビーイングサービスを提供することを掲げており、こうした取り組みにより、自治体との関係性をより強固にし、お客さま・地域・社会へのウェルビーイングへの貢献を進めていきます。

具体的には、2022年10月から、大阪府と共同で「次世代スマートヘルスに関する共同プロジェクト」として、府民の皆さまにVitality健康プログラムの一部を12週間無償で提供する取り組みを行っています。また、大阪府以外でも、これまでに茅ヶ崎市、山形市、函館市と連携して、Vitality健康プログラムの一部を一定期間無償で提供する取り組みを行いました。これまでにVitality健康プログラムを導入いただいた自治体においては、1週間ごとの短期的な目標が設定されることによる行動変容の効果等を感じていただき、ご好評をいただいています。また、山形市のように、自治体独自の健康ポイント事業を行っているところに、当該事業との相乗効果を狙ってVitality健康プログラムを

導入いただいた事例もあります。

今後、こうした取り組みをさらに推進すべく、自治体と連携したVitality健康プログラムの提供を「Vitalityウォーク」と称し、2025年度末までに100の自治体での実施を目指して取り組んでいきます。「Vitalityウォーク」の推進を通じて、住友生命ならではの価値を全国各地へと提供していきます。



山形市バイタリティ・ウォークサポート登録会の様子
山形市の健康ポイント事業SUKSKアプリの登録者も増えたとのことで、山形市のご担当者さまにも大変喜んでいただきました。

■ Vitality健康プログラム(単独提供)を活用した連携事業(2023年4月時点)

- 北海道函館市
 - ・「はこだて健幸アプリ~Hakobit~」とのコラボ事業
- 山形県山形市
 - ・山形市バイタリティ・ウォーク
 - ・「山形市健康ポイント事業SUKSK」とのコラボ事業
- 神奈川県茅ヶ崎市
 - ・茅ヶ崎バイタリティ・ウォーク
- 大阪府
 - ・大阪府スマートシニアライフ実証事業
 - ・大阪Vitalityチャレンジ(詳細は、次ページに掲載)
- 香川県
 - ・かがわVitalityウォーク(2023年度実施予定)



大阪Vitalityチャレンジ

Special Message

大阪府知事 吉村 洋文 様



大阪府知事
吉村 洋文

日頃より、大阪府政の推進にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。
住友生命と大阪府は、昨年の「次世代スマートヘルスに関する共同プロジェクト」宣言に基づき、健康寿命の延伸という社会的課題の解決をめざし、Vitalityを活用したプロジェクトに取り組んでいるところです。
「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする2025年大阪・関西万博に向けて、デジタル技術を活用した健康づくりは、非常に重要なテーマであると考えています。
本プロジェクトにより、このような未来社会の実現に向け、健康づくりの分野での取り組みが大きく加速するものと期待しています。府としても、本プロジェクトが大きな実を結ぶよう引き続き取り組んでまいります。住友生命には改めて、心からお礼を申し上げます。
結びに、皆さまの今後の益々のご発展を祈念し、挨拶とさせていただきます。

当社は2017年7月に大阪府と包括連携協定を締結し、健康増進の分野をはじめとした多分野での連携を進めてきました。2025年大阪・関西万博の開催を見据え、2022年9月に大阪府とのデジタル技術を活用した府民の健康づくり「次世代スマートヘルスに関する共同プロジェクト」の展開を宣言しました。共同プロジェクト宣言に基づき、大阪府民の健康づくりを応援するプロジェクト「大阪Vitalityチャレンジ」に取り組んでいます。【下図】

大阪Vitalityチャレンジの提供開始から8カ月で約6万人のお申込みをいただいております。取引先企業においても1,000社を超える企業に提供のご案内や、周知のためのご協力をいただいております。約3カ月のお取組みを通じてVitalityやご自身の健康増進に興味を持っていただけで3,000人超の参加者に、保険版等でのVitality健康プログラムの継続をお申込みいただいております。

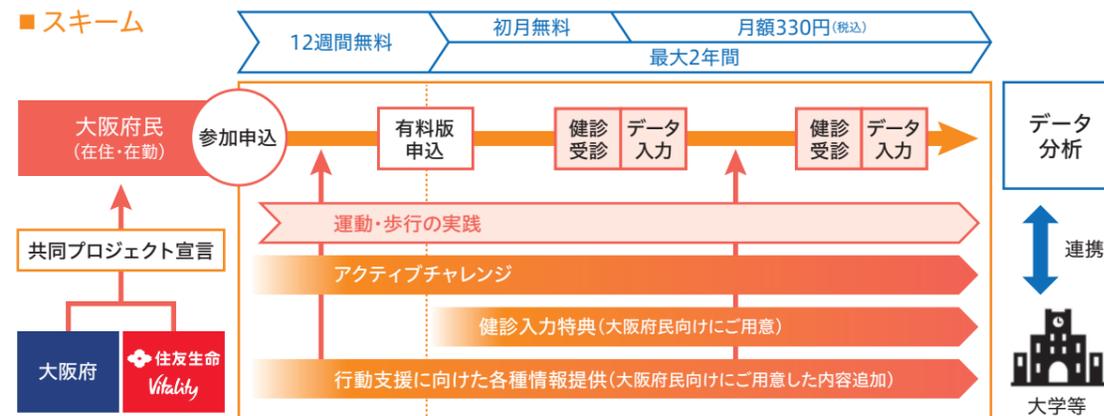
プロジェクトの参加者に実施したアンケートからは「こ

のプロジェクトをきっかけに健康づくりに取り組み始めた。健康への取り組みや意識が変化した」とのお声を多くいただいております。健康づくりのきっかけと、日々のお取組みを楽しく継続する仕組みを提供する大阪Vitalityチャレンジを一人でも多くのお客さまにお伝えし、2023年度内に10万人のお申込み、健康づくりの支援に向けて取り組んでいきます。



大阪Vitalityチャレンジの概要

- 大阪府民に健康増進に向けた行動変容を呼びかけ、12週間無料でVitality健康プログラムの一部を提供。
- 体験版の参加者の中から、Vitalityの保険版やVitalityスマートへの加入を通じて、健康づくりを継続。
- Vitalityを通じて健康データを蓄積し、健康状態と行動変容を分析、データ活用を研究。



取組事例 | 02

人生100年時代の人生設計を支援

住友生命では、豊かで明るい健康長寿社会の実現に向けた超高齢社会の課題解決に努め、人生100年時代の「健康・安心・安全」な暮らしの実現に取り組んでいます。



超高齢社会の課題解決への取組み

地域に根差したウェルビーイングサービスの提供

住友生命では、人生100年時代の到来やライフサイクルの多様化といった環境変化に応じ、商品・サービス等のさらなる進化、地域社会との連携強化等を通じ、超高齢社会の課題解決への取組みを進めています。

地域社会との連携強化においては、高齢者の特性に配慮した安心安全な社会環境づくりへの貢献に向け、地域における高齢者見守り活動や相続セミナーなどを実施して

います。また、地域包括ケアシステムの中核機関である「地域包括支援センター」との関係づくりを推進し、高齢のお客さまが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、住友生命のサービスだけでなく、地域の公共サービスを含めてご案内することで、お客さまへ安心をご提供できる体制構築を目指しています。

超高齢社会に関するリテラシーの向上

超高齢社会において、地域社会と連携し、高齢のお客さまに寄り添った対応をするために、ジェロントロジー検定試験の団体受験、ウェルビーイングデザイナー(営業職員)

の初期教育カリキュラムへの認知症サポーター養成講座の導入等、ジェロントロジー教育に取り組んでいます。

外部の専門的知見の活用

日本金融ジェロントロジー協会、日本意思決定支援推進機構といった外部団体や、東京大学高齢社会総合研究機構のジェロントロジー産学連携プロジェクトへの参加により、超高齢社会の課題に関する最新情報の収集に努めています。

これらの取組みにより得た専門的知見を踏まえて、高齢のお客さまとご家族のウェルビーイングに資する新たな取組みの検討等、高齢期を支えるサービスの向上に取り組んでいます。



お客さまの一生涯のウェルビーイングに貢献し、誰もが安心して自分らしく暮らせる「豊かで明るい健康長寿社会」の実現を目指します。

執行役員 人生100年サポート部長 千葉 由紀子

高齢化が進むなか、私たちが目指すのは人生100年時代において一人ひとりがよりよく生きられる「豊かで明るい健康長寿社会」です。超高齢社会についての職員のリテラシー向上を原動力に、地域社会との絆を深めながら、保険商品はもとよりお客さまの人生を支えるサービス・情報のお届けや、お客さまの状況に応じた適切なコンサルティングのご提供等を通じて、お客さまの人生に最後まで寄り添うことで、「ウェルビーイングに貢献する『なくてはならない保険会社グループ』」を目指して進んでいきます。